

浄明道の祖師許遜にまつわる物語の再検討

ジュディス・マギー・ボルツ
(ワシントン大学、シアトル)

ブリティッシュ・コロンビア大学人類学博物館（カナダ・バンクーバー）に所蔵される一冊の畫集を私がはじめて知ったのは二十年ほど前のことである。『眞僊事蹟』と題されたこの畫集は、五十八點の一連の挿畫とそれにつけられた文章によって許遜（239-374）の物語を傳えている。冒頭の挿畫には蘇州の畫家謝時臣（1487-1567+）の署名と印があり、これには嘉靖 25（1546）年の日付がある。

『眞僊事蹟』の後記には同じく 1546 年の日付があり、王拱楨という人物の名で記されているが、それによるとこの畫集は嘉靖帝に獻呈されるはずだったという。しかし嘉靖帝がかつてこの畫集を所有した證據は全くない。またこの畫集を謝時臣に歸するのが妥当かどうか、疑問の餘地がある。とはいえ許遜の傳説が當時なお生き續けていたことの證として『眞僊事蹟』の價値は看過さるべきではない。『眞僊事蹟』を道教經典に含まれる數多くの聖人傳と照らし合わせることによって、許遜その人について、さらに彼が浄明道の開祖たることについて、綿密な檢證が可能になるのである。

私は長年にわたり、折に觸れてこれらの文獻の校訂に取り組んできたが、有り難いことにこのシンポジウムに参加する機会を與えられ、この問題をあらためて取り上げることになった。本報告ではとりわけ『眞僊事蹟』とこれに相似た 1445 年版刻の道教經典『許太史眞君圖傳』との間に、いかなる符合と齟齬が見られるかに焦點を合わせる。これによって、注目に値するこの畫集が、正統的な傳承からの引き寫しであることがはっきりすると同時に、まぎれもなくその時代の所産であることも判明するのである。

Judith Magee BOLTZ ジュディス・マギー・ボルツ
ワシントン大学 (University of Washington, Seattle)
アジア言語文化學部 Affiliate Associate Professor.
Ph.D. (カリフォルニア大学バークレー校)
主要著作 *A Survey of Taoist Literature, Tenth to
Seventeenth Centuries* “Notes on Modern Editions of
the Taoist Canon” “Singing to the Spirits of the
Dead: A Daoist Ritual of Salvation” “Not by the Seal
of Office Alone: New Weapons in Battles with the
Supernatural” ほか多數